

【2021 年度/総合基礎科目領域/人間基礎科目群/旧カリキュラム】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
国際福祉論		選択	2	1.2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
神谷 直樹	C312	nkamiya	木曜日 10:30~12:20		
授業の目的・概要	<p>・この授業の目的は日本および世界の福祉・医療の現状と課題についての学習を通じて、日本がもっと暮らしやすい国になるにはどうすればよいか、また、活気ある長寿社会を実現するために何が必要かを理解してもらうことにある。</p> <p>・この授業では、グローバル・センチュリーと呼ばれる現代の課題である福祉の発展と平和の実現、各国における福祉・医療の動向について学ぶことを通じて、国際的な視点から福祉・医療について考える授業を行う。また、国際福祉の取組み (人権、平和、貧困、飢餓、難民、環境) についても学習する。</p>				
学習上の助言	<p>・日本と世界の福祉・医療の動向に関するニュースに関心を持ち、新聞やテレビ、インターネットなどを利用した情報収集に積極的に取り組みましょう。</p>				
教科書	教科書は使用しない。				
参考書	特に指定しない。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	日本および世界の医療・福祉の現状と課題を理解し、説明できる。			HSU(1)、HSU(2)	
②	活気ある高齢化社会を実現するための方策について理解し、説明できる。			HSU(3)	
③	健康観や障害観の変化について理解し、説明できる。			HSU(3)	
④	与えられた課題について資料を収集・分析できる。			HSU(4)	
⑤	自分自身の考察や主張を論理的な文章にまとめることができる。			HSU(4)	
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	この授業の概要。グローバル (グローバル+ローカル) な視点から、福祉・医療について考えることの大切さについて学習する	講義	講義中に示した課題に取り組む。	4	
2	20 世紀以降の福祉国家の発展と、その歴史的要因について学習する。	講義	講義中に示した課題に取り組む。	4	
3	福祉国家の類型 (西欧型、北欧型、アメリカ型、日本型)、福祉国家の現状と課題について学習する。視聴覚教材を用いる。	講義	講義中に示した課題に取り組む。	4	
4	北欧諸国における社会保障の特色と高齢者福祉の現状について学習する。視聴覚教材を用いる。	講義	講義中に示した課題に取り組む。	4	
5	日本の医療・福祉をとりまく現状と課題、活気ある長寿社会の実現に向けた方策について学ぶ。	講義	講義中に示した課題に取り組む。	4	
6	介護保険の国際比較、日本の介護保険制度の現状と課題について学ぶ。視聴覚教材を用いる。	講義	講義中に示した課題に取り組む。	4	
7	医療・福祉の分野における外国人労働力の受け入れの現状と課題について学習する。視聴覚教材を用いる。	講義	講義中に示した課題に取り組む。	4	
8	国際比較の観点から、日本におけるジェンダー平等の現状と課題について学習する。	講義	講義中に示した課題に取り組む。	4	
9	WHO (世界保健機関) による健康の定義を検討し、発展途上の健康概念について学習する。	講義	講義中に示した課題に取り組む。	4	
10	障害者権利条約が目指す「障害」観の特色について学習する。視聴覚教材を用いる。	講義	講義中に示した課題に取り組む。	4	
11	国際比較の観点から、「障害=個性」論を検討し、日本の障害者福祉の現状について学習する。	講義	講義中に示した課題に取り組む。	4	
12	国際福祉の分野における国際連合および NGO (非政府組織) の取組みについて学習する。	講義	講義中に示した課題に取り組む。	4	
13	「平和は最大の福祉」という観点から、国際紛争の解決に向けた取組み、平和への課題について学習する。視聴覚教材を用いる。	講義	講義中に示した課題に取り組む。	4	
14	センの「ケイパビリティ」概念を検討し、発展途上国への援助のあり方について学習する。	講義	講義中に示した課題に取り組む。	4	
15	まとめ。これからの医療・福祉のあり方を考える。	講義	講義中に示した課題に取り組む。	4	
試	学期末レポートで行う 達成度評価・評価のポイントを参照				

【2021 年度/総合基礎科目領域/人間基礎科目群/旧カリキュラム】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計	
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他		
		0	50	0	0	50	100	
総合力指標	知識・技術力	0	10	0	0	10	20	
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	20	40	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20	
	問題を発見・解決する力	0	20	0	0	0	20	
評価のポイント		評価の実施方法と注意点					フィードバックの方法	
評価方法	行動目標							
試験	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
レポート	①	✓	学期末レポートは、Teams 上で指定した形式、分量で提出する。成績は Teams 上に示した採点基準に従って評価する (50 点満点)。					提出された期末レポートは、コメントを付して返却し、最終授業の「まとめ」の中で全体の講評を行う。
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①	✓	毎回の授業で提出された「課題」は、Teams 上に示した採点基準に従って成績評価の対象とする (合計 50 点満点)。					提出された「課題」はコメントを付して返却する。
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
備 考								
<p>担当教員：神谷直樹</p> <p>実践的授業の内容：本科目では、日本および世界の福祉・医療の現状と課題についての理解を深めてもらうために、時事的なテーマを取り上げながら積極的に意見交換を行う。</p> <p>本科目は登校による対面授業を予定しているが、今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によってシラバスが変更される可能性がある。やむを得ず Teams を使った同時双方向型授業となる場合は、通信容量が無制限の Wi-fi 環境を推奨する。通信容量制限がある場合は通信量に十分に注意すること。</p>								